新型コロナウイルス感染危険地域（外務省危険レベル２，３）への渡航に関する説明書

様式1

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者 |  |
| 所属専攻 |  |
| 学年 |  |
| メールアドレス | (京都大学のもの @st.kyoto-u.ac.jp) |
| 指導教員名 |  |
| 正副専攻長名 |  |

※学部1・2回生及び系未登録者は、指導教員名は少人数担任名を記載してください。また、正副専攻長名は、教育担当副研究科長「田口　聡」と記載ください。

1. 海外渡航概要　　　（注：様式一式提出後　出国まで部局での一定の許可判断期間が必要）

〇渡航期間

|  |  |
| --- | --- |
| 出国日・空港 |  |
| 帰国日・空港 |  |
| 期間 |  |

※帰国日は待機期間を除いた日本国への入国日を記載すること

〇渡航先

|  |  |
| --- | --- |
| 国・地域 |  |
| 都市 |  |
| 外務省危険レベル |  |
| 渡航経路（経由国） |  |

〇委託先／受入先

|  |  |
| --- | --- |
| 名称（大学・機関・研究所等） |  |
| 住所 |  |
| 責任者氏名・所属・職 |  |
| 同連絡先（電話/E-mail） |  |

〇渡航先　新型コロナウイルス関係情報

|  |  |
| --- | --- |
| 新型コロナウイルス感染発生状況 |  |
| 医療機関の逼迫状況 |  |

〇宿泊先

|  |  |
| --- | --- |
| 名称（ホテル・学生寮・レンタルハウスなど） |  |
| 住所 |  |

〇渡航者のワクチン接種情報

|  |  |
| --- | --- |
| ワクチン接種 | 接種無　　 ファイザー モデルナ その他  接種済　 １回　  2回　  3回  接種予定：第１回　月　日　第２回　月　日　第3回　月　日 |

〇研究指導委託附議（研究指導委託先がある場合）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究科会議附議予定日 | 令和3年　　月　　　日 |

〇渡航目的（必要性を含めて具体的に）

|  |
| --- |
|  |

**※渡航中、感染・濃厚接触が判明した場合、**[**理学研究科感染防止プロトコル**](https://softmatter.scphys.kyoto-u.ac.jp/covid/?page_id=28)**を遵守し、速やかに指導教員を通じて**[**報告書・経過観察表**](https://softmatter.scphys.kyoto-u.ac.jp/covid/?page_id=28)**により所属専攻に報告してください。**

**※帰国時、および待機解除時に2回、**[**指定の帰国時健康状態確認書**](https://softmatter.scphys.kyoto-u.ac.jp/covid/?page_id=295)**を用い、指導教員を通じて所属専攻に報告してください。**

２．海外渡航感染防止対策概要

様式2

〇渡航先入国状況

|  |
| --- |
|  |

※待機期間、移動などの規定がある場合、対応についても記載すること

〇帰国時入国状況

|  |
| --- |
|  |

※日本国の水際対策を遵守し、再入国時に必要な待機措置などに従うこと

**※帰国時と待機解除時の2回、****[指定の帰国時健康状態確認書](https://softmatter.scphys.kyoto-u.ac.jp/covid/?page_id=295)を用いて指導教員を通じて、所属専攻に報告すること。**

〇渡航者の感染対策

|  |  |
| --- | --- |
| 携行品の確認 | 未確認　　/　　確認済 |

※携行品：マスク・消毒液・体温計・解熱剤など医薬品など

〇渡航者の具体的な感染時危機対応対策

|  |  |
| --- | --- |
| 海外疾病保険加入 | 加入済/未加入（加入予定日　　月/　　日） |
| 滞在先最寄医療施設の  種類および名称 |  |
| 感染時、最寄医療施設までの移動経路と確認状況 |  |
| 日本国緊急連絡先・関係 |  |
| 同上電話・e-mail |  |

※医療施設までの移動経路と手段の詳細を確認して所要時間を含めて記載すること

※日本国緊急連絡先は保証人を原則とする

〇渡航計画詳細

1. 渡航先国・地域に渡航しなければ当初の渡航計画の目的が達成できない理由（400字程度）

|  |
| --- |
|  |

1. 渡航先国・地域における最新の感染状況について（渡航先国・地域の最新の感染状況を記載、渡航先国・地域が複数ある場合は、それぞれについて記載）

|  |
| --- |
| （参照先URL:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

1. 渡航先国・地域の入国制限状況について（渡航先国・地域において、日本あるいは滞在国からの入国制限がなく、渡航が可能かどうか、渡航先国・地域が複数ある場合は、それぞれについて記載）

|  |
| --- |
| （参照先URL:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

1. 保険プランの概要について（治療費・救援費用無制限かつ、渡航中のコロナを含む疾病に対し、十分な補償が受けられる海外旅行保険又は現地の保険に加入しているかどうか）

|  |
| --- |
| （参照先URL:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

1. 渡航先国・地域への渡航手段（経由地を含む）について（自宅～現地滞在先（経由地を含む）までの経路すべて記入、渡航先国・地域が複数ある場合は、それぞれについて記載）

|  |
| --- |
|  |

1. 【重要】新型コロナウイルス感染症に感染した場合、感染の疑いが生じた場合、濃厚接触者として指定された場合、渡航先国・地域において取るべき行動及び相談先について（相談できる機関、検査できる機関、受け入れ可能な医療機関、滞在先からの移動手段、経路の詳細を記入、渡航先国・地域が複数ある場合は、それぞれについて記載）

|  |
| --- |
| （参照先URL:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**※渡航中感染や濃厚接触が確認された場合、**[**理学研究科感染防止プロトコル**](https://softmatter.scphys.kyoto-u.ac.jp/covid/?page_id=28)**を遵守し、**[**報告書・経過観察表**](https://softmatter.scphys.kyoto-u.ac.jp/covid/?page_id=28)**により、速やかに指導教員を通じて感染・濃厚接触の状況を所属専攻に報告すること。**

上記の内容について、虚偽の事実はありません。

記入日 （西暦）　　　　年　　　月　　　日

学年・氏名

所属学部・研究科

学籍番号

委託・受入先機関　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（国名：　　　　　　　　）

３．渡航者を管理する者の確認（渡航目的・概要・詳細）と必要性の説明文

様式3

〇指導教員　　職名 氏名　 印

|  |  |
| --- | --- |
| 渡航目的・概要の  確認の有無 | 確認済　/　未確認 |
| 確認日 | R　　年　　　月　　　日 |
| 教育・研究上の渡航  必要性の説明 |  |

※必要性の説明は指導教員が記入すること

〇専攻長/副専攻長/専攻主任（各専攻・分野で責任者を決める）　　氏名 印

|  |  |
| --- | --- |
| 渡航目的・概要の  確認の有無 | 確認済　/　未確認 |
| 確認日 | R　　年　　　月　　　日 |
| 専攻としての渡航必要  の説明 |  |

京都大学総長 殿

様式4

新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航についての誓約書

私は、新型コロナウイルス感染症の影響下において、京都大学の学生として渡航するにあたり、様式２「新型コロナウイルス感染症の影響下において渡航前に確認すべき項目」を全て確認しました。ついては、下記の事項を承諾・厳守することを誓約することをもって渡航を希望します。

記

1. 渡航先国・地域の新型コロナウイルス感染状況を十分確認し、自らの判断と責任で渡航します。

2. 渡航先国・地域では自分自身で安全を確保しなければならないことを理解し、自覚と責任を持って、安全と健康に十分な注意を払います。

3. 渡航中における新型コロナウイルス感染症への感染については、自らの責任として対処します。

4. 渡航中の新型コロナウイルス感染症を含む疾病に対し、十分な補償が受けられる海外旅行保険に加入します。

5. 渡航に際しワクチン接種が必要となった場合には、自らの責任において接種の判断を行い、ワクチン接種に起因する副反応等の不利益に対しても、自らの責任として対処します。

6. 渡航先国・地域の政府からの指示や在外公館からの通知に注意をはらい、現地の法令を遵守するとともに、責任のある行動をとります。

7. 渡航先国・地域の治安や感染症の状況により、出発の直前直後であっても京都大学が渡航の中止・延期又は帰国勧告を決定する場合があることを理解し、その場合は速やかに指示に従い、自己負担で帰国または出発を中止します。

8. 提出書類の記載内容に虚偽のある場合や誓約事項に違背した場合は、派遣許可を取り消されることになっても異議を申し立てません。

受入先機関 　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（国名： 　　　　　　　　　）

渡航予定日 （西暦） 　　　　年 　　　　　月 　　　　　日

渡航予定期間 （西暦） 　　　　年 　　　　　月 　　　　　日～ 　　　　年 　　　　　月 　　　　　日（予定）

誓約者 誓約書記入日 （西暦） 　　　　年 　　　　　月 　　　　　日

氏名 （自署） ※誓約者直筆

所属学部・研究科

学籍番号

保証人（親族） 誓約書記入日 （西暦） 　　　　年 　　　　　月 　　　　　日

保証人（親族）氏名 （自署） ※保証人直筆

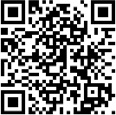
続柄

住所

連絡先（電話番号）

※平時の渡航必要書類に加えて上記の書様式1-4を提出し許可を得ること

新型コロナウイルス感染症危機下における学生の渡航可否判断フローチャート



海外渡航にかかる可否判断基準（学内限定）

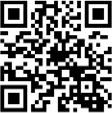
をよく読み、 理解してください。

https://www.kyoto- u.ac.jp/ja/about/public/issue/anzen\_guide

京都大学「海外渡航に関する安全対策手引き」と「海外渡航にかかる可否判断基準」をよく読み、理解しましたか？

**No**

[アイコン

自動的に生成された説明](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdhy7uVcWvNV_NY9KKLpQqUCWMzKMXtisL9SYIjVjPeJQ6Njw/viewform?usp=sf_link)

海外渡航申請フォーム（教員・学生共通）専攻事務専用

**緊急帰国**

日本国帰国時に自宅・隔離施設などでの待機要請がある場合はルールに従ってください。

帰国時と待機解除時の2回 [帰国者確認書](https://softmatter.scphys.kyoto-u.ac.jp/covid/?page_id=295) を指導教員を通じて専攻長（専攻主任）に提出してください。

**レベル4に変化or研究科から退避勧告/命令**　速やかに帰国してください。

ただし、帰国途中で感染の危険に晒される恐れが高い場合や、日本の感染状況 が著しく悪化し、緊急事態宣言が発出されるなど、帰国する方が危険だと客観的に判断される場合は、例外的に滞在継続を認めることがあります。

レベル0-3 and

研究科から

退避勧告/命令無

渡航継続可能

**レベル2,3**

**レベル0,1**

**否**

**否**

渡航開始

渡航日までレベル３など渡航可能な条件を満たしていることを確認

理学研究科　将来計画常任委員会で渡航の可否を判断

専攻長（専攻主任）に確認、渡航の必要性の説明文を記入、確認印を押してもらいましたか？

指導教員から専攻長（専攻主任）へ

確認と記入、押印をお願いしてください。

**No**

**No**

**No**

指導教員に確認、渡航の必要性の説明文を記入、確認印を押してもらいましたか？

理学研究科　「コロナ禍海外渡航申請書」の内容を読み、必要事項を記入しましたか？

指導教員へ確認と記入、押印を

お願いしてください。

申請書に必要事項の準備をして、申請書を記入してください。（各種事前調査、保険の加入、本人・保証人の誓約書などが必要）

**帰国**

**渡航日**

**渡航中**

**可**

**渡航不可**

渡航は認められません

**Yes**

**Yes**

**Yes**

**レベル4**

渡航先の国・地域に外務省感染症危険

情報レベルは発出されていますか？

外務省海外安全情報

https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/